

**“宝くじ購入経験者”は
推計人口で約 8,115 万人に**

**「第 14 回宝くじに関する世論調査」
調査結果ダイジェスト**

一般財団法人 日本宝くじ協会

一般財団法人日本宝くじ協会では、宝くじに関して、経験の有無をはじめとする購入行動のほか、単価や賞金額に関する要望、数字選択式宝くじについての感想、希望など、さまざまな見地から消費者の意識や評価、購入実態等を把握することを目的に、「宝くじに関する世論調査」を昭和 51 年（1976 年）から 3 年ごとに実施しています。

第 14 回にあたる本年は、全国 47 都道府県に居住する満 18 歳以上の男女から無作為に抽出した 9,718 人を調査対象として、この 4 月に直接面接法によって調査を行いました。なお本調査では、母集団となる満 18 歳以上の男女の全人口を、平成 27 年 3 月末の住民基本台帳から約 1 億 624 万人と推計し、調査結果のパーセンテージを対比させた人数をもとにレポートをまとめています。

主な調査結果は下記の通りです。

1. 宝くじ購入経験者について

■宝くじ購入経験率は 76.4%。推計人口約 8,115 万人。

- ・宝くじを過去に 1 度でも購入したことのある購入経験者の割合は、76.4%（前回調査比 2.1 ポイント減）で、そこから推計される購入経験者数は約 8,115 万人（同約 229 万人減）と調査開始以来はじめて 8,000 万人台を超えた前回から引き続き、8,000 万人台になりました。
- ・最近 1 年間に 1 回以上の購入経験がある「宝くじ人口」は 49.1%で、推計人口にして約 5,219 万人と、前回調査と比べて 3.5 ポイント、推計人口で約 373 万人の減少となっています。
- ・また、最近 1 年間に月 1 回以上購入した「宝くじファン」は 9.8%で、推計人口にして約 1,044 万人と、前回調査比で 1.5 ポイント、推計人口で約 162 万人の微減となりました。

宝くじ購入経験者／宝くじ人口／宝くじファン

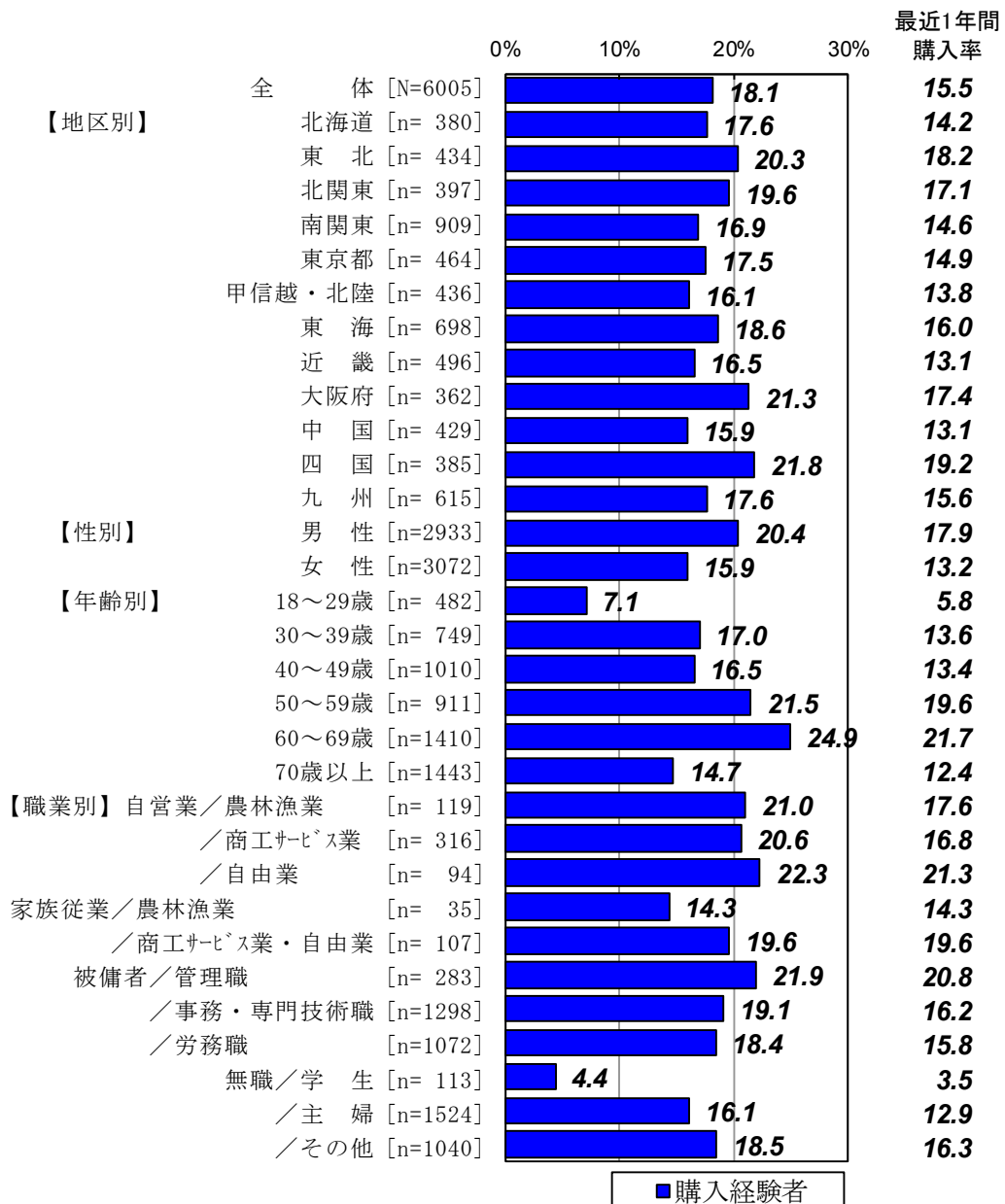
単位：万人

	今回（平成 28 年）		前回（平成 25 年）	
宝くじ購入経験者	8,115	76.4%	8,344	78.5%
宝くじ人口(最近 1 年間に 1 回以上宝くじを買った人)	5,219	49.1%	5,592	52.6%
宝くじファン(最近 1 年間につき 1 回以上宝くじを買った人)	1,044	9.8%	1,206	11.3%

■「ジャンボミニ」の購入経験者は18.1%。

- ・平成25年11月に初登場し、ジャンボ宝くじ（ドリーム、サマー、年末）と同時期に発売されている「ジャンボミニ」。初登場以降、「ジャンボミニ」を買ったことのある人は、どのくらいいるのでしょうか。
- ・「ジャンボミニ」購入経験率は18.1%でした。
- ・性別では、男性20.4%、女性15.9%で、男性の方が女性よりも高い結果でした。
- ・年齢別では、60代（24.9%）がもっとも多く、次いで50代（21.5%）、30代（17.0%）の順でした。

「ジャンボミニ」購入経験[地域・性・年齢・職業別]



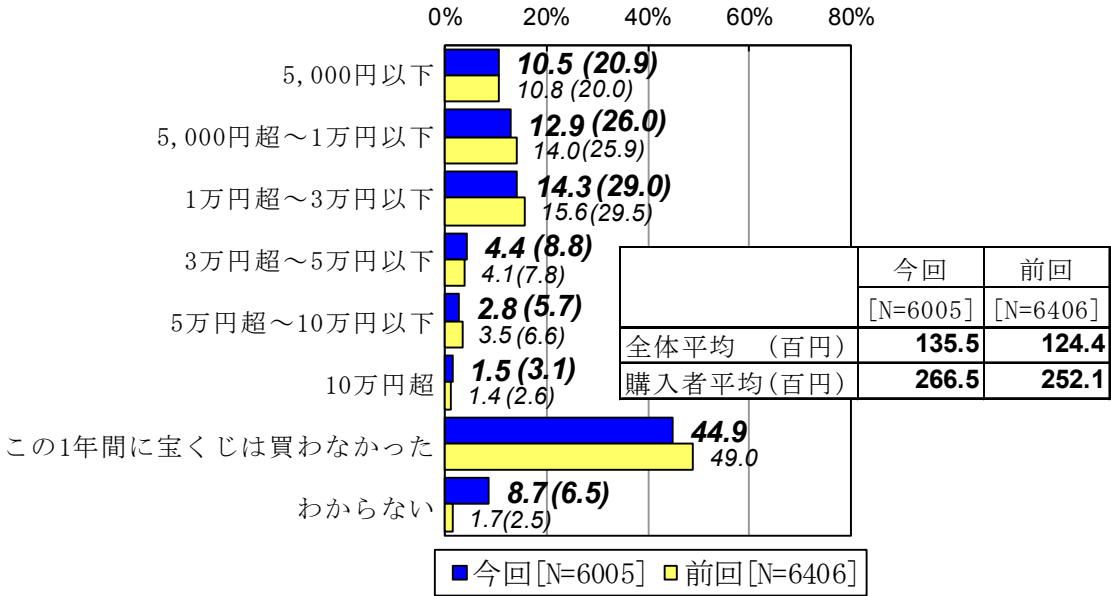
2. 最近1年間に購入した「宝くじ」の総額

■宝くじの平均購入総額は、13,550 円。購入者ベースで 26,650 円。

■前回に比べてそれぞれ 1,110 円増、1,440 円増で、低下傾向から反転。

- ・最近1年間の「宝くじ」購入総額をみると、「1万円超～3万円以下」の層が最も高く、全体の14.3%（購入者ベースの29.0%）、次いで「5,000円超～1万円以下」が全体の12.9%（購入者ベースでは26.0%）、「5,000円以下」が全体の10.5%（購入者ベースでは20.9%）となっています。最近1年間の購入者のうち、約76%が「3万円以下」、約47%が「1万円以下」です。
- ・平均購入総額は、最近1年間非購入者を含む全体で13,550円。購入者ベースで26,650円でした。前回と比べ、購入総額分布の変化はほとんどありません。前回の平均購入総額は12,440円、購入者ベースでは25,210円で、それぞれ今回は1,110円、1,440円増加しています。調査開始以降、この平均購入総額は増加していましたが、前回、前々回では減少しており、今回、再び増加傾向に転じたこととなります。

最近1年間の「宝くじ」購入総額
(括弧内の数字はN=最近1年間宝くじ購入者(宝くじ人口)ベース)



最近1年間の「宝くじ」平均購入総額

単位：百円

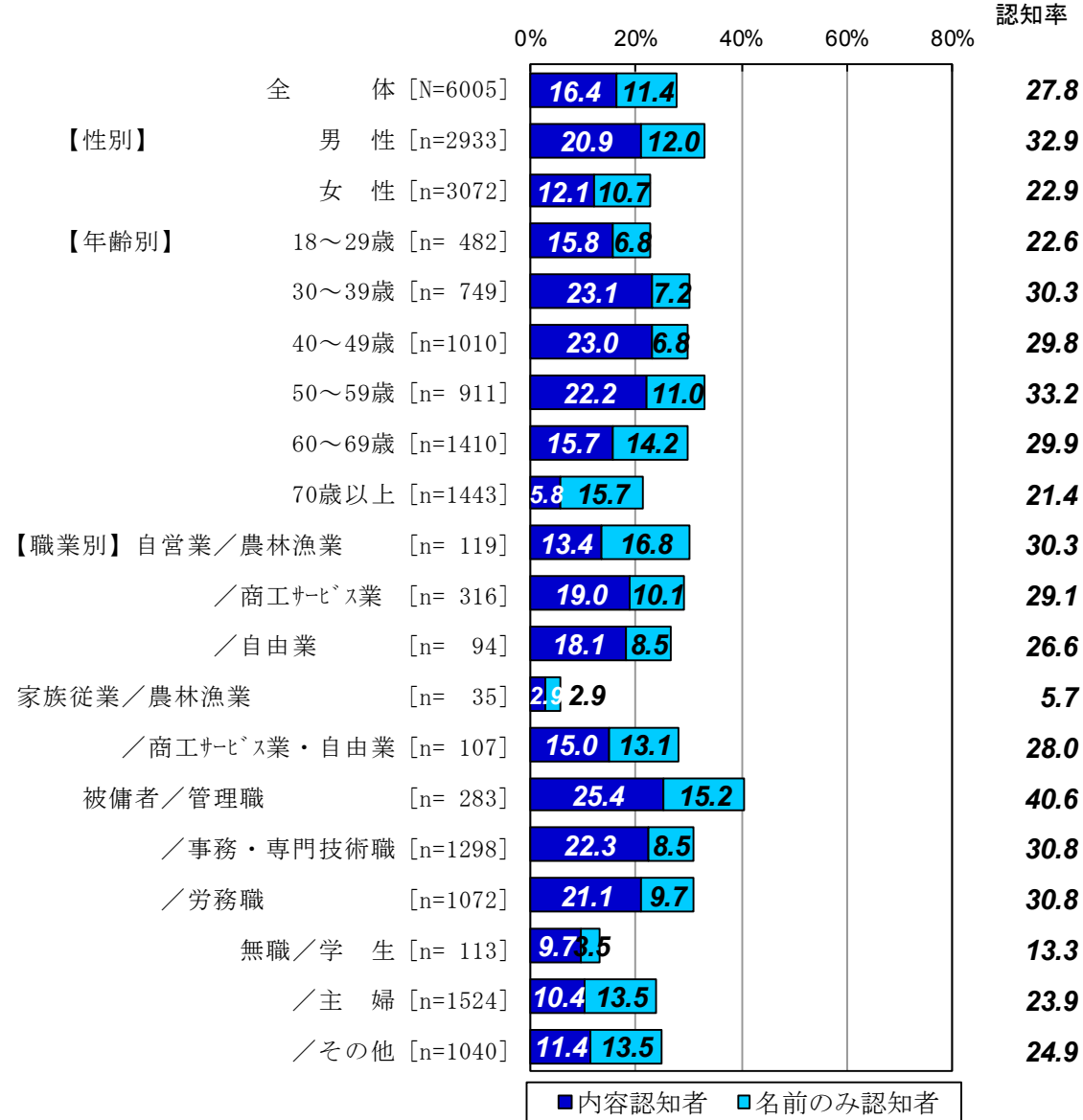
	第9回 (H.13)	第10回 (H.16)	第11回 (H.19)	第12回 (H.22)	第13回 (H.25)	第14回 (H.28)
全体平均	136.2	146.8	194.7	141.3	124.4	135.5
購入者平均	276.1	294.5	362.8	278.8	252.1	266.5

3. インターネットを通じた宝くじの購入実態

■ インターネットを通じた宝くじ購入の認知者は 27.8%。

- ・インターネット（携帯電話、スマートフォン等でのアクセスを含む）を通じて、宝くじが購入できることを知っているという認知者は 27.8%。そのうち、何らかの内容について知っている人は 16.4%、「インターネットで宝くじの購入ができることだけは知っている」という人は 11.4%でした。
- ・性別では、認知率、内容認知率ともに、男性（32.9%、20.9%）が女性（22.9%、12.1%）を上回っています。男女差は、認知率で 10.0 ポイント差、内容認知率で 8.8 ポイント差でした。
- ・年齢別でみると、認知率は 50 代の 33.2%が最も高く、次いで 30 代、40 代、60 代の 29～30%台が続きます。29 歳以下（22.6%）、70 歳以上（21.4%）では比較的低くなっていますが、いずれも 2 割台であり、年齢層ごとの開きは最大（50 代と 70 歳以上の差）でも 11.8 ポイントです。

インターネットを通じた宝くじ購入についての認知[性・年齢・職業別]

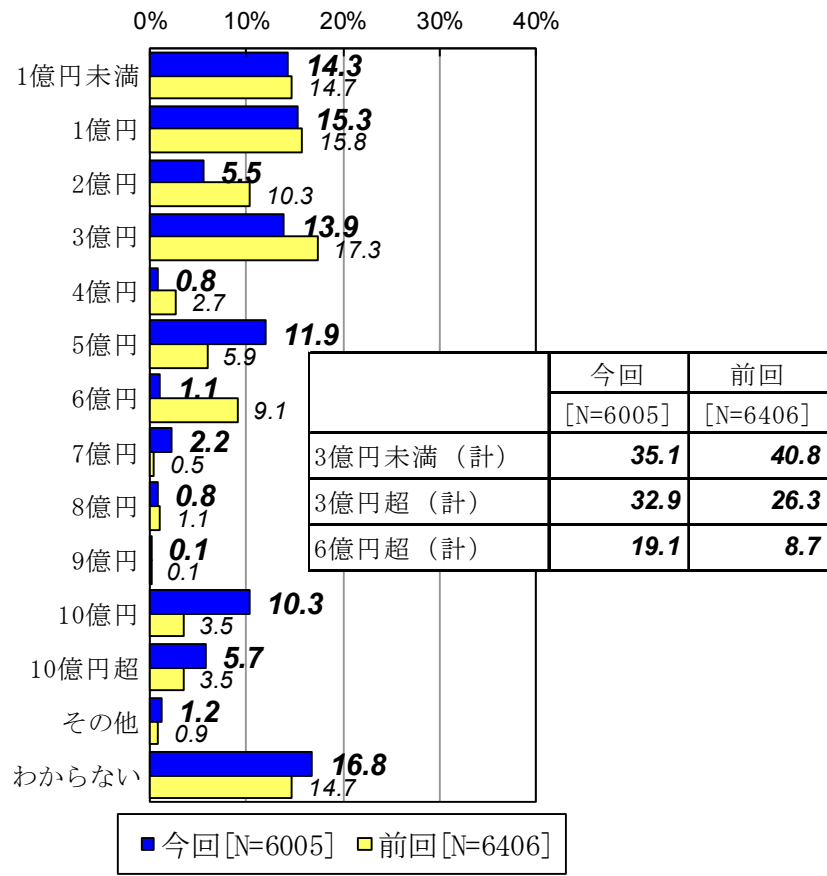


4. 「ジャンボ宝くじ」 1等と前後賞を合わせた賞金の希望額

■最も多いのは、「1億円」の15.3%。「3億円超」「6億円超」が前回調査より増加し、高額化。

- ・「ジャンボ宝くじ」の1等と前後賞を合わせた賞金の希望額をみると、回答率が高い順に「1億円」の15.3%、「1億円未満」の14.3%、「3億円」の13.9%。
- ・前回と比べて、「2億円」「3億円」がそれぞれ4.8ポイント、3.4ポイント減少し（「3億円未満（計）」は5.7ポイント減の35.1%）、前回調査時最高額の「6億円」も前回の9.1%から1.1%へ急減。一方、「5億円」が6.0ポイント増、高額の「10億円」も6.8ポイント増と急増しています。これらを受けて、「3億円超（計）」は6.6ポイント増の32.9%、「6億円超（計）」でみると10.4ポイントの増の19.1%となりました。前回調査以降、実際の賞金額の増額（変動）を反映して、希望額については全体的な高額化、そして、ある特定の金額レベルの支持の活発な伸縮がうかがえます。

「ジャンボ宝くじ」1等と前後賞を合わせた賞金の希望額



～本件に関するお問い合わせ先～
 一般財団法人 日本宝くじ協会
 事務局
 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-9
 TEL. 03-3261-8540